

- 1 日にち 平成24年11月24日（土）
- 2 場所 サンピアンかわさき
- 3 参加者 75名
- 4 ポスターセッションの回答者 40名 40～50代の男女（地球環境問題啓発ポスターコンクールの表彰される子どもの保護者）、60～70代の男女
- 5 ポスターセッションで出された意見

たいしょうぶかい 対象部会	しんぎてーま 審議テーマ	だ 出された意見
みんなのまちづくり部会	ちいきみじかぼうさいりよくれきしかんきょうまな 地域で身近な防災力（歴史・環境から学ぶ）	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急放送が聞こえない地域が多い。 ・緊急放送は、行政が設置したスピーカーを使うだけでなく、商店街の放送を活用したらどうか。 ・津波の時、近い所に高い避難場所がない。近い場所に高い避難場所が必要。 ・臨海部にはレジャー施設が増えているが災害にあった時の避難方法がわからない。 ・海拔表示、ハザードマップでは、ぴんとこない。近隣にあると実感がわく。 ・住んでいる人々に直接うったえて欲しい。市・区の職員の方々！ ・堤防にしっかりと根を伸ばす木を植える。 ・防災計画、市レベルではなく町内・近隣で計画した方がよい。 ・避難場所をさらに細かく表示して欲しい。大雑把すぎる。 ・共働きの家庭が多くなっているため、親が帰るまで子どもだけで家にいる事も少なくありません。そんな時震災があると、親が帰宅困難になり、子どもだけで過ごすこととなります。こんな時、地域の協力があるととても助かると思います。
	こみゆにていばすどうにゆうそくしんかんこうふくし コミュニティバス導入の促進（観光と福祉の向上）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスは、小回りがきいてよい。ぜひつくってほしい。 ・以前からまちづくりクラブでもコミュニティバスの必要性は言っている。 ・早くコミュニティバスの整備を！川崎区に必要である。 ・ワンコインバスが区内を網目のように整備してほしい。 ・京町から教文に来るバスが欲しい。 ・駅に行くには便利だが、横移動が不便だ。 ・各地のコミュニティバスが経営的に苦しいと聞いていますが、税金の使途としてコミュニティバスの運営に使うことは良いと考えます。採算性は考えず、区民の利便性を最重要に考えて、開設を急いで。 ・京町・小田地区から、川崎区役所等、病院に行くバスがなく、とても不便。 ・コミュニティバスへの要望。家の近くが不便。

かわさきくくみんかいぎふおーらむ
川崎区区民会議フォーラムについて

- 1 日にち 平成24年11月24日（土）
- 2 場所 サンピアンかわさき
- 3 参加者 75名
- 4 ポスターセッションの回答者 40名 40～50代の男女（地球環境問題啓発ポスターコンクールの表彰される子どもの保護者）、60～70代の男女
- 5 ポスターセッションで出された意見

対象部会	審議テーマ	出された意見
	<p>ちいき けんこう すいしん 地域における健康の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種があぶないという噂もあり、受けてよいかわからない。明確にしてPRしてほしい。 ・子どもが多いと経済的に負担。 ・中学校まで予防接種を無料に。 ・働いている親が多い。このため、休日に受け入れるとよい。 ・予防接種助成が必要だと思う。 ・予防接種を学校の（行事）として取り組む。
<p>とも いぶかい すこやか・共に生きる部会</p>	<p>こ ちいき ささき こども い ちから 子どもを地域で支える、子どもの生きる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの通学の時、心配だった。 ・子どもが忙しい。地域のイベントに出してくれない。 ・外で遊んでいる子どもが少ない。 ・地区全体で子どもに力を入れていない。高齢者が中心、子どもが少ない。 ・若い世代（30-40代）が子どもに関心をもって取り組んでほしい。 ・いこいの家とこども文化センターの交流を図る。 ・お母さんたちは、同世代グループとは活発に活動しているが、多世代と交流しない。 ・子ども達をしっかりと叱れるおじさん、おばさんが必要。 ・高齢者の交流の場に子どもを入れる。 ・子どもがお年寄りのことをよく知らない、知る場をつくる。 ・子どもが走り回ることができる広場がない。遊びの中で子どもの思考は発達する。 ・多摩川の水を公園にひく。メダカ等を育むことで生命について自然に学べる。 ・世代間交流について、高齢者と子ども達等何かしたい、しなければ。
	<p>がいこくじんしんみん す 外国人市民も住みやすいまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかで外国人に話しかけられてもコミュニケーションがむずかしい。 ・町内の外国人と町内会が断絶している。町内に外国人がどのくらい住んでいるのかもわからない。 ・外国人が町内会の存在を知らないのではないか。 ・町内会が外国人がどれだけ住んでいるか把握できない。 ・川崎市は外国人にとって住みやすい。情報も充分である。それをPRする。 ・国の食材が買える店等に情報を置く。 ・外国人代表者会議でも同意見もあり、報告させていただきますので、よろしくお願ひします。